



2012・9・20

第163号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「講演会」成功で情勢に立ち向かう力に

当日受付けもあります

「九条の会講演会」が迫りました。「講演会」は激動する情勢について深くつかむ絶好の場となります。

「講演会」への郵便振替による参加申し込みの受付けは、9月14日に締め切りました。これは当日の受け付けでの混乱を避けるため、一定数の参加者には事前に参加券を確実にお届けしておくためにとった措置で、会場には、まだかなりの余裕があります。当日までの参加方法としては、次のような形があります。

1、「講演会」開催前日の28日まで、「九条の会」の事務局まで券をお求めにきていただける場合には、前売り券の扱いで1000円で参加券をおわけします（あらかじめ事務局にお電話ください。TEL03-3221-5075）。

2、当日は、午前11時から、「入場券整理券」を配布します。前売り入場券をお持ちでない方には当日入場券の販売と整理券の配布を同時にいたします。入場は12時からですが、当日のご来場でも確実に入場できます。

三木睦子さんの志を受けついで 九条の会講演会

—今、民主主義が試されるとき

◇とき 9月29日 13:00(12:00開場)

◇ところ 千代田区・日比谷公会堂

◇講演 大江健三郎、奥平康弘
澤地久枝

◇朗読 俳人、歌人、詩人の「九条の会」

◇参加費 前売1000円(28日まで事務局で販売) 当日1500円(会場で販売)

九州、東海で交流集会

【九州・沖縄ブロック】 九条の会九州沖縄交流集会が9月9日、福岡市中央区の光円寺で開かれ、「オスプレイ配備反対の県民大会」が開かれた沖縄をのぞく九州各県の40の九条の会から代表70人が参加しました。

九条の会福岡県連絡会の石村善治代表が基調報告し、最近の改憲の動きに警鐘をな

らしました。活動交流では、「九十九島と公務員が憲法擁護義務の99条を守ることが大事なことにちなんだ名称で略称はスリーナイン」(長崎・佐世保の九十九島9条&99条の会)、「運動の幅を広げるため、脱原発の運動とも連携、地域のお祭りにも参加」(大分・九条の会うすき)、「自民党の元県議会議長や『後半生を憲法を守ることに捧げたい』と農協組合長も参加」(大分・農林水産9条の会)、「毎年、募金を集め、憲法記念日に地元紙に意見広告を掲載」(かごしま九条の会)などの報告がありました。

【東海ブロック】 9月16日、愛知、静岡、岐阜、三重の東海ブロックの九条の会の交流集会在名古屋市中区の東別院会館で開かれ、約270人が参加しました。

集会では渡辺治一橋大学名誉教授が講演し、全国の九条の会の運動が「憲法を変えるべきでない」との世論形成に大きな役割を果たしていることを強調しました。

改憲と情勢をテーマにした分科会では、「尖閣諸島や竹島の問題を『ナショナルリズム』に利用する動きもあるが、われわれも民間レベルの外交に取り組んでいかなければならない」、「日本中がだまされて60数年前にあんなに大きな戦争に巻き込まれた。改憲をいう政治家も戦争を知らない。九条の会の活動はますます重要になる」などの意見がだされました。

女性九条の会が記念のつどい

【岩手／いわて女性・九条の会】 いわて女性・九条の会は9月1日、元北海道電力社員の水島能裕さんを講師に、盛岡市で結成7周年の講演会を開き、約100人参加しました。

山内敏子事務局長は主催者あいさつで、岩手県での原発をつくる計画をストップさせた田野畑村の女性たちの運動を紹介しました。

水島さんは、今年6月に改訂された原子力基本法に「安全保障に資する」と書き込まれたのは、原発と核兵器の関連を位置づける大変危険なことだと警鐘をならし、日本は現在は自然エネルギーの後進国だが、東北・北海道の豊かな自然エネルギーをいかすべきだ、と語りました。

【北海道／女性「九条の会」十勝】 女性「九条の会」十勝は、このほど帯広市で6周年記念のつどい「アフリカ・ガーナからいのちのメッセージ」を開き、130人が参加しました。

つどいでは、大樹町出身でガーナ在住の米山博子さんが絵本の朗読と語りをおこない、「奴隷貿易という負の歴史を、絵本を通して現在の子どもたちに伝えたい、人間として生きていく限り大切なことを一緒に考え、語り合いたい」と訴えました。

親子で紙芝居を見て平和な未来願う

【愛知県／東郷町・東郷9条の会】 東郷9条の会は8月26日、「親と子の平和のつどい」を開き、親子100人が参加しました。

2006年に結成いらい毎年おこなっている行事で、今回はマーガレット一家・紙芝居のたっちゃんが登場。たっちゃんは「家族・仲間・そして世界中に笑顔を」をモットーに東日本大震災の被災地など全国を巡っています。5作品が上演され子どもたちの鋭い突っ込みに会場は爆笑につつまれました。

2児をつれて参加した母親は、「紙芝居を見て喜ぶ子どもたちの将来を守るのがおとなの責任です」と話しました。

